PART2 練習問題（給ふ）

問一 傍線部の敬語の種類として最も適当なものを、次の中からそれぞれ選べ。

「思う[a]たまへられし…」

「習ひ[b]たまへる…」

ア　尊敬語　　イ　謙譲語　　ウ　丁寧語

a＝　　　b＝

問二 「今宵、夜ひと夜思し騒ぐを見給へつれば、…」の傍線部の活用の種類と敬語の種類について答えよ。

問三 次の傍線部のうち、敬語の種類の異なるものを一つ選べ。

「～なほたち返り紅葉もいかにと思ひ[ア]たまへてなむ。旅寝もしつべき木のもとにこそ」とて、見出だし[イ]たまへり。
〈中略〉「さま変り[ウ]たまへらんさまを、いささか見せよ」と、少将の尼にのたまふ。「それをだに、契りしるしにせよ」
と責め[エ]たまへば、…

問四　「憚りあるまじうなん見給ふる。」の「給ふる」と敬語の種類が同じものを、次の中から選べ。

ア　聞えさせ給ひて…
イ　思ひ給へしなり。
ウ　違へさせ給ふな。
エ　ねびまさらせ給へるを…
オ　見奉り給ふ御気色…

問五　次の傍線部の中には、敬語の種類（尊敬・謙譲・丁寧）が他と異なるものが一つ含まれている。その語を選べ。

「～われよりほかのとのみ、思ひたまへ（ア）つつ過ぐしはべる…」
「ただいかにも のたまはする（イ）ままにと 思ひたまふる（ウ）を、…」
「見苦しきことに 聞こえさすらむ（エ）。」

問六　「まかり出でて見給へむと思ひ給へしに、年はまかり老いにたり、…」の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　（陽成院が）御覧になると思いましたが
イ　（陽成院が）御覧になるはずがないと思いましたので
ウ　拝見しようと思いましたが
エ　見るのを諦めようと思ったのですが
オ　孫が姿を現すのを期待していたのですが

第28講　PART2　確認問題

① 傍線部の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

「…うちうちに、思ひたまふるさまを奏*したまへ。ゆゆしき身にはべれば、かくておはしますも、いまいましう、かたじけなく。」などのたまふ。

注　奏す…帝に申し上げる。

ア　思いなさる様子を、帝にお申し上げください
イ　思っていただく様子を、帝に申し上げてください
ウ　思い申し上げる様子を、帝に申し上げなさい
エ　お思いになる様子を、帝に申し上げさせてください
オ　思っております様子を、帝に申し上げなさってください

② 「『さばかりの人*の、むげにこそ心弱きけしきを、人の国*にて見え*［　　］けれ。』と、…」の空欄にあてはまる語として最も適当なものを、次の中から選べ。

注　さばかりの人…ここでは、身分の高い人を指している。
　　人の国…他の人の国。
　　見え…見せる。

ア　給ひ　　イ　給ふ　　ウ　給へ　　エ　給ふれ

③ 傍線部のうち、他と意味が異なるものを次の中から選べ。

ア 「これをと思ひ<u>給ひ</u>ね。人ないたくわびさせたてまつらせ給ひそ。」と言ひて、…
イ 「後(のち)の世に願ひはべる所のありさまも、思う<u>たまへ</u>やらるる夜(よ)のさまかな。」と、…
ウ 「総門は錠のさされてさぶらふぞ。東面(ひがしおもて)の小門(こもん)より入らせ<u>たまへ</u>。」と申しければ、…
エ 「これに都より流され<u>たまひ</u>し丹波(たんば)の少将殿、法勝寺執行(ほつしようじのしゆぎやう)の御房(ごばう)、平判官(へいはうぐわん)入道殿やおはする。」と、…

④ 空欄には、「たまふ」があてはまる。正しく活用させたものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

神仏のあはれびおはしまして、しばしのほど御(み)心をも悩まし奉るにやとなむ思う［　　］。

ア たまひ　イ たまへ　ウ たまふれ　エ たまふる

⑤ 「見る目の情(なさけ)をば、え頼むまじく思う<u>たまへ</u>えてはべる。」の傍線部と同じ活用形のものを、次の中から選べ。

母御息所(みやすどころ)は、影だにおぼえ<u>たまは</u>(ア)ぬを、「いとよう似<u>たまへ</u>(イ)り。」と、典侍(ないしのすけ)の聞こえけると、若き御心地(みここち)に、いとあはれと思ひ聞こえ<u>たまひ</u>(ウ)て、常に参らまほしう、なづさひ見奉らばやと、おぼえ<u>たまふ</u>(エ)。

第28講　PART2　解答

問一　a イ　b ア
問二　ハ行下二段活用・謙譲語
問三　ア
問四　イ
問五　イ
問六　ウ

第28講 PART2 確認問題 解答

〔解説〕

① 「たまふる」と活用するのは、下二段活用の「たまふ」で、他の謙譲語と違い、「(思って)おります」と訳す。「たまへ」は文末にあることから、命令形であると判断できる。よって、こちらは四段活用の「たまふ」として、「(帝に申し上げ)なさってください」と尊敬の意で訳す。よって、オが正解。

② 直後の「けれ」は連用形接続なので、空欄には「給ふ」の連用形が入る。ここでの「見え」は、「身分の高い人」が「他の国の人」に「見せる」という文脈に接続する形で用いられているので、謙譲ではなく尊敬の意味。よって、四段活用の「給ふ」の連用形「給ひ」が入る。よって、アが正解。

③ ア「給ひ」は後に連用形接続の助動詞「ぬ」の命令形があるので、四段活用の連用形。よって、尊敬。イは認識を表す動詞「思う(=「思ひ」のウ音便化)」に接続し、会話文中にあるので、謙譲。ウは認識を表す動詞に接続していないので、尊敬。エは四段活用動詞「たまふ」の連用形なので、尊敬。よって、イが正解。

④ 直前に係助詞「なむ」があるので、「たまふ」を連体形に活用させる必要がある。尊敬の場合「たまふ」、謙譲の場合は「たまふる」。選択肢に「たまふ」がなく、認識を表す動詞「思う(=「思ひ」のウ音便化)」に接続している。よって、エが正解。

⑤ 傍線部「たまへ」は、直後に連用形接続の助詞「て」があることから、下二段活用の連用形だとわかる。アは未然形接続の助動詞「ぬ(終止形「ず」)」、イは四段活用に已然形で接続する助動詞「り」、ウは連用形接続の助詞「て」にそれぞれ接

続している。エは文末にあるので終止形。よって、ウが正解。

〔解答〕

①　オ

②　ア

③　イ

④　エ

⑤　ウ